

長野地域連携中枢都市圏 連携事業進捗状況一覧(平成28年度)

長野市連携中枢都市圏ビジョン懇談会

H28.11.10

資料3

平成28年10月1日現在

連携中枢都市圏構想推進要綱 取組区分	長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱	
	(No.)	事業名										事業概要
ア 圏域全体の経済成長のけん引	a 産学金官民一体となった経済戦略の策定 など	<b>1) 地域経済の分析等に基づき、産学金官民が一体となった地域経済成長戦略を推進する取組</b>										
		(1) 長野圏域経済成長推進事業	圏域の一体性を図り、圏域の経済成長に向けた施策や具体的な事業構築に向け、研究を進める。また、施策の推進に必要なツールの開発について研究する。	○担当者会議(5/16) ・各自治体の企業誘致の情報交換と長野市東京事務所の企業誘致推進員の活用について意見交換 ○長野地域産業活性化協議会幹事会(8/19) ・長野地域産業活性化協議会にオブザーバー参加(坂城町)も検討する。	○	○	○	○	○	○	○	○
	b 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進 など	<b>2) 産学金官民連携による新技術や新製品開発への支援、圏域の特性を活かした創業促進やイノベーションの実現及び異分野異業種交流など、戦略産業を育成・支援する取組</b>										
		(1) 大学等高等教育機関との連携活用事業	各関係市町村が結んでいる大学等高等教育とのパートナーシップ協定等を活用し、産学官による産業振興の充実を図るため、圏域内での連携を進める。	○長野高専との人材育成講座 ・機械製図の基礎実践講座(5/12、5/19、5/26、6/2、6/10) 参加人数:30人(うち連携市町4人) ・マーケティングの基本と実践法講座(6/9、6/16) 参加人数:32人(うち連携市町7人) ・新商品、新技術開発の進め方(7/14、7/21) 参加人数:11人(うち連携市町4人)	○	○	○					○
		(2) インキュベーション施設等活用事業	長野市ものづくり支援センターの施設活用を圏域の企業向けに広げる。また、各市町に配置されているコーディネーター等の連携による広域的な産産、産学連携支援を行う。(※インキュベーション:起業支援)	○信州大学と共同研究を行っている企業の施設への入居や相談については、市内企業に限らず受け入れを実施 ・入居10室、相談31件(いずれも連携市町の実績なし)	○	○	○					○
		(3) 創業支援事業	創業希望者に対する、創業セミナーなどの創業支援の合同実施を検討する。 ※中小企業庁への産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の変更申請及び協議、関係機関及び市町村との調整等、事業実施に向けて調査検討していく。	○「ながの地域創業スクール」(8/27~10/1 全10回) 参加人数:17人(うち連携市町村0人) ○「長野市実践起業塾」(第1回 10/6~12/2(全7回)、第2回H29年1/19~3/14) 第1回参加人数:7人(うち連携市町村0人) △担当者会議(未定)	○	○	○		○	○		○
		(4) 異分野異業種交流事業	UFO長野ものづくりサロン等の事業者に向けた異分野異業種交流により、圏域内のネットワークを拡大する。	○第50回UFO長野ものづくりサロン(7/14) 参加人数:60人(うち連携市町村3人) △第51回UFO長野ものづくりサロン(11月) △第52回UFO長野ものづくりサロン(H29年2月)	○	○	○		○	○		○
	c 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大	<b>3) 圏域内地場産品の販路開拓、地域ブランドのPR促進及び六次産業化や農商工連携の促進など、地域資源を活用して地域経済の裾野を拡大する取組</b>										
		(1) 合同プロモーション事業	加工品・農産物等の販路拡大のため、各市町村で行っているプロモーション事業を合同開催できるよう検討する。	△担当者会議(11/15) ・共同出展、大規模イベント等での出展について	○	○	○		○	○		○
		(2) 産業展示会事業	圏域内の産業の活性化を図るため、産業フェアin善光寺平(3市1村で開催)の広域化等について検討を進める。	○実行委員会(4/18) ・H27年度の開催結果及びH28年度の開催内容について △実行委員会(10/5) ・H28年度の開催概要の打合せ △産業フェアin善光寺(10/28、29) ・参加市村:長野市、須坂市、千曲市、高山村 △実行委員会(12月頃予定) ・H28年度開催結果及び今後の広域化を含めた開催内容について	○	○	○		○	○		○
	(3) 地域農産物販路拡大事業	圏域内農産物の認知度向上及び消費拡大を図るため、それぞれの特色を活かした大都市圏でのPR活動を共同で実施する。	○須坂市、坂城町と事業実施計画を策定中 △ぐるっとながのマルシェ&移住相談会(11/2、3) ・場所:銀座NAGANO ・参加市町(マルシェ):長野市、須坂市、坂城町	○	○	○		○			○	

連携中枢都市圏構想推進要綱		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱	
取組区分	(No.)	事業名	事業概要										
ア圏域全体の経済成長のけん引		(4) 農業イベント開催事業	ビッグハットで開催される「長野市農業フェアinビッグハット」において、圏域内農畜産物及び地域特産食(そば、おやき等)の販売・PR活動を行い、販売促進を図る。	○須坂市、坂城町、飯綱町に対する出店説明会(9/27) △長野市農業フェアinビッグハット(10/29) ・参加市町:長野市、須坂市、坂城町、飯綱町 ・出店事業者:長野市(23)、須坂市(2)、坂城町(1)、飯綱町(1)	○	○	○			○		○	
	d	戦略的な観光施策	<b>4)観光資源の魅力向上や情報発信力の強化及びインバウンドの推進など、戦略的な観光を推進する取組</b>										
		(1) 外国人観光客誘致促進事業	外国人観光客の利便性向上のため、受け入れ態勢の整備や、圏域の観光資源を活用した英語版等の外国語パンフレットを活用しての情報発信の強化など、外国人観光客の積極的な誘致に向けた取組を行う。	○外国人観光客の受け入れ環境整備の一環として、関係市町村の玄関口となるJR長野駅において、無料公衆無線LAN接続環境整備を実施(H28年12月 供用開始予定) △外国人観光客の圏域における動向を把握するための調査(H29年3月 完了予定)	○	○	○			○	○		○
		(2) 広域観光連携事業	圏域全体の魅力を向上させるため、「自然」「文化」「史跡」など、存在する観光素材の充実を図るとともに、圏域内市町村のイベント開催時等、長野駅観光情報センター内等に関係市町村の臨時観光案内所を設置するなど、連携して観光PR、情報発信を行っていく。	○富山駅における合同観光キャンペーンの実施(9/30~10/1) ・参加市町村:長野市、須坂市、千曲市、高山村、信濃町、小川村 △長野観光情報センターを使った観光PR(H29年3月 小川村)	○	○	○			○	○	○	○
	e	その他、圏域全体の経済成長のけん引に係る施策	<b>5)東京事務所の活用など、効果的な圏域への企業誘致を促進する取組</b>										
		(1) 企業誘致連携事業	圏域内の事業者の立地動向の情報交換や、首都圏に派遣されている関係市町村の企業誘致推進員等職員の連携などにより、企業誘致の促進を図る。また、企業誘致を圏域内で統一的に取り組むために、補助制度の共通化や産業展示会の共同出展等について検討する。	【アa1)(1)再掲】 ○担当者会議(5/16) ・各自治体の企業誘致の情報交換と長野市東京事務所の企業誘致推進員の活用について意見交換 ○長野地域産業活性化協議会幹事会(8/19) ・長野地域産業活性化協議会にオブザーバー参加(坂城町)も検討する。	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		<b>6)ICTを活用した双方向性の情報発信など、積極的な就職支援によりUJIターンを促進する取組</b>											
		(1) 就職情報サイト「おしごとながの」活用等地域への就職支援事業	長野市が運営している就職情報サイト「おしごとながの」を関係市町村を加えて広域化するなど、地域への就職支援強化を図る。なお、「おしごとながの」に関する企業の登録審査や情報公開等の管理運営、広報活動は関係市町村が実施する。	○おしごとながの広域化開始(4/1) ・登録企業数:180社(うち連携市町村29社) ○東京圏新卒合同説明会(7/3) ・参加学生数:40名 ・参加企業数:21社(うち連携市町村6社) ○企業PR力強化セミナー(7/14) ・参加企業数:17社(うち連携市町村6社) ○東京圏ワークショップ3年(8/10) ・参加学生数:24名 ・参加企業数:5社(うち連携市町村2社) ○企業見学ツアー1泊2日(8/18-19) ・場所:須坂市、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町 ・参加学生数:14名 ・訪問企業数:6社 ○フォローアップ調査(9/1~16) ・8/31現在「おしごとながの」登録企業213社(うち連携市町村44社)を対象に実施 ○東京圏ワークショップ3年(9/15) ・参加学生数:18名 ・参加企業数:5社(うち連携市町村2社)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		<b>7)圏域内の豊富な森林資源や水資源などからもたらされる自然エネルギーの活用により地域経済を活性化する取組</b>											
		(1) バイオマス利活用推進に係る調査・研究事業	圏域内の豊富なバイオマス資源を活かすための調査研究を進める。また、長野市が認定を目指すバイオマス産業都市についても、認定の効果が圏域全体に波及するよう、併せて調査研究に努める。	△視察研修会(11~12月) △担当者会議(11~12月) △研修会(2月) △担当者会議(3月)	○		○			○	○	○	○
	小計		14事業			14	13	14	3	11	11	5	14

連携中枢都市圏構想推進要綱		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱	
取組区分	(No.)	事業名	事業概要										
イ 高次の都市機能の集積・強化	a	高度な医療サービスの提供	8) 広域的な救急医療体制の整備や先進医療の充実など、高度な医療サービスを提供する取組										
	b	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築	9) 圏域内外へのアクセス拠点の整備に向けた調査や構想の策定など、高度な中心拠点を整備及び広域的公共交通網を構築する取組										
			(1) 新幹線新駅設置に係る協議事業	新幹線新駅に関する調査研究を踏まえ、連携について協議する。	○担当者会議(4/11) ・新幹線新駅の建設に対する負担、同盟会の会費等について ○長野市長「期成同盟会顧問」に就任(4/14)		○						
	c	高等教育・研究開発の環境整備	10) 高等教育・研究開発・研修等の環境整備や人材育成など、圏域の活性化に向けて高等教育機関等と連携する取組										
			(1) 農業の新たな担い手育成事業	平成29年4月開設予定の農業研修センターを利用することなどにより、農業の新たな担い手として、多様な人材(定年帰農者、農業に関心のある市民・企業)を圏域全体で育成・支援することにより、農業の担い手不足の解消や耕作放棄地の削減を図る。	○受講生募集のパンフレットを関係市町村の庁舎窓口に設置(10月)		○	○		○	○		○
			(2) 産業を支える人材育成事業	各市町村で行っている産業に係る人材育成事業を連携して実施する。また、圏域内の高等教育機関や研究機関等と連携し、将来を担う人材育成に向けた取組を行う。	○「ながのブランド郷土食」社会人スキルアッププログラム開講(4/5~) 参加人数:6人(うち連携市町1人) ○UFO長野共創塾「経営実践講座」開講(10/1~ 全6回) 参加人数:10人(うち連携市町0人)		○	○	○				
			(3) 新県立大学を核とした魅力あるまちづくり事業	県が進めている新県立大学設立に対し、市としても全面的に協力し、県と連携しながら、大学を中心とした若者にとって魅力あるまちづくりを目指す。	○担当者会議(4/21) ・調整事項の確認 ○担当者会議(7/4) ・三輪キャンパス周辺道路 ○担当者会議(7/26) ・支援内容について他 ○担当者会議(9/28) ・後町ホール施設について他 ○担当者会議(10/14) ・支援内容について他 △担当者会議(月1回程度) ・施設建設、管理について他								
			(4) 寄附講座の開設事業	長野市が包括連携協定を締結する高等教育機関(信州大学、清泉女学院大学、清泉女学院短期大学、長野県短期大学、長野工業高等専門学校)に、市民へ研究成果を還元することを目的とした寄附講座を開設することについて調査・研究を実施した上で、開設に向けて取組を進める。	○担当者会議(4/25) ・寄附講座の実施に向けた課題について △担当者会議(12月) ・寄附講座の内容について								
	小計		5事業			1	3	2	0	1	1	0	1

連携中枢都市圏構想推進要綱		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱		
取組区分	(No.)	事業名	事業概要											
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	A 生活機能の強化に係る政策分野	a 地域医療	11) 医師、看護師不足の解消など、地域医療を充実する取組											
			(1) 病院群輪番制運営事業	休日・夜間の救急患者受入体制を確保するため、関係市町村と連携して病院群輪番制参加医療機関に支援を行い、今後更に制度の充実・強化を図っていく。	○病院群輪番制参加医療機関(長野赤十字病院、篠ノ井総合病院、長野松代総合病院、千曲中央病院、長野中央病院、長野市民病院、県立須坂病院)に対しH27年度補助金を交付 ○H29年度の負担金予定額を関係市町村へ通知(7月) △負担金に対する意見を関係市町村へ照会(10月)	○	○	○	○	○	○	○	○	
		b 介護	12) 医療・介護の連携強化など、介護サービスを充実する取組											
		c 福祉	13) 障害者や生活困窮者等への自立支援や子育て支援の充実など、福祉の向上を図る取組											
			(1) 保育の広域利用の拡大事業	病児・病後児保育事業について、広域利用ができるようにするための調整等を行う。また、現在実施している広域入所や近隣市町村からの一時預かり保育の受け入れについては、引き続き継続実施していく。	○病後児保育施設広域受入開始(4月) ・長野日赤「ゆりかご」(長野市) 8月末実績:12人(うち連携市町村0人) ・さかた山風の子保育園(須坂市) 8月末実績:15人(うち連携市町村0人) ・松代総合病院「バオバブの家」(長野市)と千曲中央病院病後児保育施設(千曲市)は準備中 ○病児保育事業連携市町村担当者会議(9/5)・参加者11人 △圏域内住民周知用チラシ作成(10月中に発注予定) (松代総合病院と千曲中央病院の事業開始に併せて作成する予定)	○	○	○	○	○	○	○	○	
			(2) 地域移行支援事業	精神科病院や施設へ長期入院又は長期入所している障害者の地域移行支援をする専任の相談員(地域移行コーディネーター)を長野圏域で共同設置する。内容としては、現在、長野市が設置している相談員の活動日数を週3日間から週4日間に延長し、長野圏域に範囲を拡大する。	○地域移行支援の対象を連携市町村に拡大(4月) 7/19現在 利用実績:9名(うち連携市町村2名) ○長野圏域障がい者総合支援センター連絡会議市町村関係者会議(7/20) ・来年度以降も引き続き、地域移行コーディネーターを長野圏域で共同設置することを確認 ・地域移行コーディネーターが活動を拡大した1日分の活動費について、利用する市町村(長野市を除く)で費用を負担する。 ・負担額は、前年7月の人口割により算出	○	○	○	○	○	○	○	○	
			(3) 成年後見支援センターの設置事業	成年後見制度の相談体制の充実や普及啓発活動の推進等を行うため、共同で実施する事業の調査・研究を進める。	△成年後見センターを運営する長野市社会福祉協議会が、関係町村と調整を行っている。10月中に会議を開催し、連携の可否について最終的な判断を行う予定。							○	○	○
			14) 学校教育・社会教育環境の整備、文化財保護、スポーツ振興、公共施設の相互利用など、教育・文化・スポーツを充実・振興する取組											
		d 教育・文化・スポーツ	(1) 青少年対策事業	地域の子ども会・育成会を活性化するため、広く圏域内での交流を行い、新たな子ども会リーダー研修の機会とするとともに、圏域内の子どもリーダーの育成を図る。	○担当者会議(8/31) ・イベント等に係る情報発信を相互に行っていくことを確認 ・長野市のシニアリーダーの他市町村への派遣要望あり ○「リーダー研修会」(9/17 長野市主催) ・須坂市職員が視察 ○「すぎか子どもフェスティバル」(9/25 須坂市主催) ・長野市職員が視察 △「リーダー研修会」(10/22~23 長野市主催)連携市町村が視察予定	○	○	○		○	○		○	

連携中枢都市圏構想推進要綱		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱	
取組区分	(No.)	事業名	事業概要										
ウ圏域全体の生活関連機能サービスの向上	A 生活機能の強化に係る政策分野	(2)	スクールカウンセラー等の共同活用事業	圏域でスクールカウンセラーの共同活用について調査・研究を行い、県のカウンセラーの支援できない、中間教室等でのカウンセリングを実施する。	○		○		○	○	○	○	
		(3)	文化財保護における学芸員の相互支援事業	学芸員がいない自治体や、専門分野以外の文化財保護について、現況確認や毀損事故等有事における初期対応、埋蔵文化財の保護調整と発掘調査の指導、所管する文化財の適切な整理、修復、管理、収蔵等について、学芸員としての立場から専門技術の指導・助言等のサポートを行う。	○	○	○		○	○	○	○	○
		(4)	文化芸術情報提供事業	効果的な提供方法を調査の上、圏域内の各ホールのコンサート等の開催情報を提供する。 ・1か月ごとに、情報を取りまとめ、新聞広告等に掲載する。	○	○	○		○	○	○	○	○
		(5)	図書館資料貸出しの広域化事業	現在、図書館資料の利用資格は長野市内に居住・通勤・通学している者に限られているが、これを連携市町村まで広げ、利用促進を図る。なお、サービス範囲の検討、南部図書館との連携、狭小である駐車場にさらに来館者が増えること等の問題があり、連携市町村とは引き続き協議し研究を行う。	○	○			○	○	○	○	○
		(6)	特別支援教育の充実と帰国・外国人児童生徒日本語指導事業	特別支援教育を充実するための教育資源の活用、帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導を充実するための教育資源の活用について連携を図る。	○			○			○		○
		<b>15) 規模や地域特性を活かした農業の展開など、適切な土地利用を推進する取組</b>											
e	土地利用	(1)	耕作放棄地等の資源作物(ソルガム)活用調査事業	耕作放棄地等を活用して資源作物(ソルガム)を栽培し、子実の販売及び茎葉の利活用について事業化を図るとともに、収益モデルを構築し、その具現化を図る。	○					○		○	
<b>16) 地域におけるにぎわいの創出や地場産業の振興、商店街の活性化や購買環境の整備など、地域振興を図る取組</b>													
f	地域振興	(1)	買い物連携事業	関係市町村が連携し、買い物弱者の増加や地域の買い物拠点喪失などの課題解決策について、以下の視点から検討する。 ①地域の基盤整備(歩いて行ける買い物拠点づくり) ②生産と販路の連携(地元産品のブランド化、まちなか市場など) ③連携中枢都市と周辺市町村との買い物連携(お買い物バス、買い物拠点めぐり、配達サービス)	○		○					○	

連携中枢都市圏構想推進要綱		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱		
取組区分	(No.)	事業名	事業概要											
A 生活機能の強化に係る政策分野 ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	g	災害対策	(2)	アウェイツーリズム活用事業	AC長野パルセイロ、信州ブレイブウオリアーズ、信濃グランセローズなどのホームゲームに訪れたアウェイチームのサポーターをターゲットに、圏域内の市町村が連携し、地元での飲食、買い物、まち歩き、温泉などの利用促進策や、地元産品などの販売促進策を検討する。	△担当者会議(11/15) ・ホームゲーム会場での自治体プロモーションについて ・スタジアム周辺のイベントでのプロモーションについて	○	○	○		○	○		
			(3)	公共牧場利用促進事業	圏域外から圏域内の公共牧場へ牛等の預託を促進するため、共同でチラシ等によるPR活動を行う。	○担当者会議(9/2) ・パンフレットの構想、レイアウト等検討 △入稿(事業者は入札中)					○	○		
			17) 圏域における災害対策の推進や減災・防災体制の充実など、防災に関する連携体制を構築・強化する取組											
	h	環境	(1)	災害対策のための相互協力事業	「長野県市町村災害時相互応援協定」に基づき、防災情報の共有や災害応急対応活動の相互協力など、圏域(長野ブロック)内の連携を強化することで、地域防災力の向上を図る。	○相互協力事業検討会議開催(9/28) ・連携中枢都市圏における防災備蓄の連携のあり方について ・連携中枢都市圏内における災害時の食料調達について(各連携市町村内にある、食料供給事業者についての情報共有など) △各連携市町村防災倉庫の相互見学会	○	○	○	○	○	○	○	
			18) 再生可能エネルギーの活用や低炭素・資源循環型社会の形成などに向け、持続可能な生活環境を維持・形成する取組											
			(1)	スマートコミュニティの構築に向けた調査・研究及び再生可能エネルギー設備等の普及促進事業	エネルギーの効率的利活用を推進するため、再生可能エネルギーや省エネルギーに係る設備について各地域の特色を活かして調査研究を重ねつつ導入推進を図る。また、エネルギーの需給管理を中心としたスマートコミュニティの構築に向けて調査・研究を行う。	△担当者会議(11~12月) △担当者会議(3月)			○		○			
			(2)	地域木質バイオマスの利用推進事業	間伐材等の搬出や燃料化に係る支援や、公共施設等への需要施設整備を行い、木質バイオマス利用を推進する。薪等は、中山間地域を中心に、燃料生産、その近隣の需要先の確保を支援する。市町村毎または連携してモデル事業を構築し、その共有を図り圏域内に複数の事業を展開する。また、原材料供給の補完や、需要先の相互利用などを図る。木質ペレットは、圏内全域で燃料の生産・利活用を推進し、スケールメリットを活かした流通環境の向上を図る。	△視察研修会(11~12月) △担当者会議(11~12月) △研修会(2月) △担当者会議(3月)	○				○	○	○	
	(3)	剪定枝葉バイオエタノール化の推進事業	広域的かつ効率的に低炭素・資源循環型社会の形成を図るため、剪定枝葉のバイオエタノール化に向けた調査・研究に取り組み事業を推進する。	○長野市におけるFSS調査(4月~H29年3月まで) ・(一財)地方自治研究機構との共同研究 ・剪定枝葉のバイオエタノール化について、事業収支、効果等を検討 △研修会(3月)								○		
	a	地域公共交通	19) 民間等バス路線の再編など、地域公共交通ネットワークの調査・研究・形成等に向けた取組											
			(1)	圏域内の公共交通網構築事業	圏域内の公共交通網の形成と利便性向上を図るため、関係市町村と連携して調査・検討を実施した上で、構築に向けて取組を進める。	○各市町担当者と調整(7/15) [千曲市] 稲荷山循環線について ・千曲市においては、H29年度に網形成計画を策定予定であり、その中で需要調査等実施する可能性があり、その結果により実施に向けた調整に入ることとなる。当面は現状のとおりとする。 [小布施町] 豊野駅~小布施町を結ぶバスについて ・町内の需要調査の実施等について、現在検討中であるため、当面は現状のとおりとする。 [須坂市、千曲市、飯綱町] 地域間幹線等について ・引き続き連携し、屋代須坂線、吉村牟礼線に対し支援を行う。	○	○	○				○	
b	ICTインフラ整備	20) 保健・医療・介護情報の一元化など、ICT等インフラを整備・利活用する取組												

連携中枢都市圏構想推進要綱		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱
取組区分	(No.)	事業名	事業概要									
ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	B 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	c	道路等の交通インフラの整備・維持	21) 拠点となる都市機能をつなぐ道路の維持・整備など、道路等の交通インフラを維持・整備する取組								
		d	地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	22) 直売所の整備や生産者とのマッチングなど、地産地消を推進する取組								
		(1) 地場産品直売所活用事業	圏域内の地場産品直売所の利用促進及び消費拡大を図るため、地産地消推進協議会が主体となって実施している直売所をスタンプラリー方式で買い物ができる仕組みを、連携市町村に拡大する。	○長野市、須坂市、飯綱町の直売所を掲載した「おいしいながのガイドブック」を発行し、スタンプラリーキャンペーンを実施(9~12月) ・長野市:28店舗掲載、スタンプラリー17店舗参加 ・須坂市:12店舗掲載、スタンプラリー12店舗参加 ・飯綱町:5店舗掲載、スタンプラリー5店舗参加	○							○
	(2) 地産地消商談会開催事業	農業生産者・食品加工業者と実需者との双方のニーズについて情報交換を行い、農産物及びその加工品に関する商談に結びつけるきっかけづくりの場を提供する。	△売り手事業者の参加について、関係町へ11月以降順次呼び掛けを行う。			○						○
	e	地域内外の住民との交流・移住促進	23) 情報の収集・発信やイベント開催など、交流、移住・定住を促進する取組									
	(1) 移住・定住促進事業	① 都市圏での移住に関する合同相談会・移住フェア等の開催及び関係団体主催の移住交流イベント等への共同出展 ② 移住・交流を促進する事業(移住体験ツアーの実施等)の開催 ③ 圏域市町村の取組情報を集約した情報提供(移住専門誌への掲載、パンフレット等の作成)	○移住相談会(①4/9、10 ②7/17、18) ・場所:移住・交流情報ガーデン(東京) ・来場者:①160人 ②52人 ・出展市町村:①長野市、須坂市、千曲市、信濃町、坂城町 ②長野市、須坂市、千曲市、坂城町、高山村、信濃町、小川村、飯綱町 ○長野地域連携中枢都市圏 移住促進パンフレット作成(7月) ○移住体験ツアー(10/8、9) ・場所:長野市、小川村、飯綱町、信濃町 ・参加者:15人 △ふるさと回帰フェア(東京)ブース出展(10/22) ・場所:東京国際フォーラム(東京) ・出展市町村:長野市、須坂市、千曲市、高山村、信濃町 △ぐるっとながのマルシェ&移住相談会(11/2、3) ・場所:銀座NAGANO(東京) ・出展市町村(移住相談):長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小川村 △移住体験ツアー(H29年1/22、23) ・場所:長野市、須坂市、高山村、千曲市、坂城町	○	○	○		○	○	○	○	
	f	aからeまでに掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に係る連携	24) 市町村間の広報活動の連携など、圏域の結びつきやネットワークを強化する取組									
	(1) 広報活動連携事業	圏域内の参加市町村の広報紙を活用して、各市町村の事業やイベント等を紹介する。	○広報記事の相互掲載開始(4月) ・バス共通ICカードKURURUの利用情報について、長野市広報紙10月号、須坂市広報紙9月号に掲載	○		○	○	○	○	○	○	○
	a	人材の育成	25) 圏域内市町村職員の研修機会の充実など、圏域のマネジメントを担う人材を育成する取組									
	(1) 公共施設等マネジメントスキルアップ事業	老朽化が進む公共施設やインフラ施設等の維持管理にあたり、コスト低減や長期にわたり活用できるように、予防保全的な維持管理のスキルを持った職員育成を行う。(講師を招いて継続的な研修会開催)また、公共施設マネジメントに係る情報共有を図るとともに、近隣自治体における公共施設共同利用・共同設置について研究する。	○担当者会議(4/13) ・H28年度の事業検討、各市町村の取組状況に係る情報交換 ○研修会開催(8/31) ・参加人数:70人(うち連携市町村34人) ・「道路構造物の老朽化の現状と対策」 講師:国土交通省関東地方整備局長野国道事務所 ・「長野県の道路施設長寿命化計画」 講師:長野県建設部道路管理課 △担当者会議(12/20) ・H28年度研修結果及びH29年度研修・事業について等	○		○		○	○		○	

連携中枢都市圏構想推進要綱		長野地域連携中枢都市圏ビジョンにおける取組		平成28年度 進捗状況(○:実績 △:予定) ※主な取組を記載	須坂	千曲	坂城	小布施	高山	信濃	小川	飯綱	
取組区分	(No.)	事業名	事業概要										
C 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野 ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	b	外部からの行政及び民間人材の確保	26) シンクタンクとの事業連携など、外部からの行政及び民間人材を確保する取組										
	c	圏域内市町村の職員等の交流	27) 人事交流や合同研修の実施など、圏域内市町村職員等の交流・連携強化を図る取組										
		(1) 合同職員研修実施事業	圏域内職員の資質及び行政運営能力の向上を図るため、関係市町村職員に対し、長野市が開催する研修への参加を推進する。(長野県市町村職員研修センターの研修項目とは重複しない研修で、長野市が独自で実施する特別研修を対象とする。)	○第1回管理職研修(4/21) ・テーマ:「共に生きる社会の実現に向けて」 ・参加人数:209人(うち連携市町8人) ○第2回管理職研修(7/12) ・テーマ:「いかにして人口減少を勝ち抜くか」 ・参加人数:131人(うち連携市町5人) ○法制執務研修(9/28) ・テーマ:法務執務(基礎) ・参加人数:20人(うち連携市町6人) △第3回管理職研修(10/18) ・テーマ:地域資源の再発見と地域づくり △プレゼンテーション研修(12/8) ・テーマ:プレゼンテーション	○		○				○		
		(2) 技術職・専門職交流事業(保健師・看護師)	長野市が実施する保健師等専門職員を対象とした研修会等(交流含む)について、圏域内各市町村に情報提供を行い、広く参加を呼びかけることで、圏域内の専門職全体で最新の専門知識・技術の習得及び各市町村間で情報の共有を図る。	○第1回(6/6) ・「各世代に広がる性感染症の実態」 ・参加人数:62人(うち連携市町村4人) ○第2回(6/29) ・「在宅療養難病患者の支援における地域連携のポイント」 「拡張型心筋症と補助人工心臓」 ・参加人数:104人(うち連携市町村2人) ○第3回(8/1) ・「生きづらさを抱えて自殺する若年者」 「自殺予防のためのゲートキーパーについて」 ・参加人数:91人(うち連携市町村4人) ○第4回(9/2) ・「長引く咳の原因疾患」 ・参加者数:86人(うち連携市町村5人) △第5~8回(11/2)(11/18)(12/2)(1/30)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	(3) 保育士等情報交換研修等事業	園長級、主任級等の職階等ごとの情報交換研修会の開催や実施希望市町村間における保育士の相互訪問保育による研修を行う。	○担当者会議(4/20・5/11) ・保育士等情報交換研修、保育士訪問保育研修について ○障がい児加配保育士研修会(5/16) ・参加人数:53人(うち連携市町村15人) ○育児休暇明け保育士研修会(5/19) ・参加人数:14人(うち連携市町村4人) ○幼稚園・保育所・認定こども園職員研修会(6/25) ・参加人数:870人(うち連携市町村1人) ○男性保育士研修会(7/19) ・参加人数:23人(うち連携市町村3人) △担当者会議(10/14日) ・実施状況、効果及び今後の進め方について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	小計	27事業		20	13	19	8	17	21	13	24		
	総計	46事業		35	29	35	11	29	33	18	39		